

2025 年度事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット

I. 事業実施の基本方針

NGO 神戸外国人救援ネットは、団体設立以来、国籍にかかわらず外国にルーツを持つ人々の生活と権利を守り、多様な人々が共に暮らせる社会の実現に寄与することを目的として、生活相談や生活支援等の活動を継続してきた。

近年、行政機関や関係機関における多言語対応は徐々に進展している。しかしその一方で、制度や在留資格、家族関係、労働問題など複数の課題が絡み合う複雑な相談が当団体に寄せられる傾向は強まっている。また、通訳同行支援を必要とするケースも多く、支援体制の維持・充実が求められていることから、その活動資金を募るために「共感寄付」に参加した。

さらに、長引く物価高騰の影響もあり生活に困窮する相談者が増加しており、生活支援や制度利用に関する相談への対応が重要な課題となった。

このような状況の中、2025 年度も各事業においてこれまでの活動を継続するとともに、支援の充実と発展を目指して取り組みを進めた。なお、2025 年度は当団体設立 30 周年という節目の年でもあり、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の活動のさらなる発展に向けた機会となった。

II. 特定非営利活動に係る事業内容

1 外国人の人権擁護のための多言語で行う相談・支援事業

電話及び面談での多言語での相談及び支援活動を(1)～(4)の通り行った

(1) 多言語生活相談ホットラインの実施

① 団体としての相談対応（電話・来所） 毎週金曜日 13：00～20：00

【新規相談件数】 190 件

【相談者性別】 男性：52 名、女性：143 名

【相談言語】

日本語	タガログ語	英語	ポルトガル語	スペイン語	中国語	アラビア語	タイ語	ベトナム語
69	54	21	20	17	4	2	2	1

【相談者の国籍】

フィリピン	日本	ブラジル	シリア	ペルー	中国	ウガンダ	ベトナム	ボリビア	ナイジェリア	アフガニスタン	台湾	タイ	ネパール	ミャンマー	ルーマニア	その他
58	34	22	11	10	8	6	5	5	5	3	3	2	2	2	2	12

その他内訳： アメリカ、イギリス、インド、エジプト、韓国、香港、コロンビア、チリ、ドイツ、ニュージーランド、モルドバ、不明（スペイン語圏）（各 1 件）

【相談内容】

在留資格	くらし	家族関係	住居	社会保障	教育	労働	医療	国籍等	日本語学習	交通事故	税金	ビジネス	その他	合計
46	40	36	23	19	19	16	13	4	3	1	1	1	10	232

- ② ひょうご多文化共生総合相談センター（兵庫県委託事業）としての相談対応（電話・来所）
 月～金 9 時～17 時は（公財）兵庫県国際交流協会外国人県民インフォメーションセンターが、
 土・日曜日 9 時～17 時は NGO 神戸外国人救援ネットが担当。

相談件数【週末】 362 件 （※NGO 神戸外国人救援ネットが担当した土曜日・日曜日分）

相談者性別【週末】 男性 148 名、女性 217 名

相談言語【週末】

日本語	英語	スペイン語	ベトナム語	ポルトガル語	アラビア語	タガログ語	中国語	ネパール語
177	72	40	26	24	7	6	6	4

相談者の国籍【週末】

フィリピン	日本	ブラジル	ベトナム	シリア	ペルー	イギリス	ネパール	ウガンダ	中国	アフガニスタン	台湾	ナイジェリア	ミャンマー	ルーマニア	ボリビア	ラトビア	不明	その他
74	72	35	33	32	14	13	12	7	7	6	6	6	6	6	5	4	5	20

その他内訳：バングラディシュ 3 件、ウクライナ、韓国・朝鮮、ドイツ、ニュージーランド、モロッコ、モルドバ（各 2 件）、カナダ、コンゴ、スペイン、不明・スペイン語圏、トルコ、（各 1 件）

相談内容【週末】

出入国	くらし	婚姻	住居	労働	医療	教育	社会保障	日本語学習	国籍等	税金	就職	交通事故	運転免許	ビジネス	その他	合計
78	66	65	55	30	25	23	14	11	8	6	6	3	2	1	19	412

相談件数【全体】 3,215 件 対前年度比 3.9%減 (2024 年度 : 3,347 件、2023 年度 : 3,551 件)
(※外国人県民インフォメーションセンター + NGO 神戸外国人救援ネット)

相談言語【全体】

- 1 位 : スペイン語 1,283 件 (39.9%)
- 2 位 : ポルトガル語 655 件 (20.4%)
- 3 位 : 日本語 569 件 (17.7%)
- 4 位 : 中国語 357 件 (11.1%)
- 5 位 : 英語 276 件 (8.6%) ほか

※相談員対応に加え、外部通訳・翻訳アプリを活用して 25 言語に対応

相談内容【全体】

- 1 位 : 「くらし」 684 件 (21.3%)
- 2 位 : 「医療」 587 件 (18.3%)
- 3 位 : 「社会保障」 331 件 (10.3%)
- 4 位 : 「出入国等」 318 件 (9.9%)
- 5 位 : 「教育」 275 件 (8.6%) ほか

(兵庫県「2025 年度ひょうご多文化共生総合相談センターの相談状況」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr13/press/20260521.html>)

(2) よりそいホットライン (一般社団法人 社会的包摂サポートセンターが受託する国の事業) の多言語ラインに協力した。

(3) 上記以外の相談・支援事業

他団体との連携や、上記以外の相談案件にも適宜対応した。

2 外国人の地域での生活を支える事業

(1) 相談のフォローアップ、同行支援・同行通訳

【同行件数】 317 件

【相談者性別】 男性 : 67 名、女性 : 340 名

【相談言語】

日本語	アラビア語	タガログ語	英語	ポルトガル語	ベトナム語	中国語	スペイン語	韓国語	タイ語
73	66	62	58	22	18	13	8	1	1

【相談内容】

DV	家族関係	医療	食料支援	住居	社会保障	在留資格	教育	国籍	労働	刑事事件	その他	合計
114	94	67	46	38	34	30	24	11	10	4	1	473

【相談者の国籍】

フィリピン	シリア	ベトナム	ブラジル	アフガニスタン	ナイジェリア	日本	ルーマニア	中国	タイ	ウガンダ	オーストラリア	ペルー	ミャンマー	モルドバ	台湾	ラトビア	韓国	ネパール
102	99	28	25	24	24	19	16	15	12	11	8	8	4	4	3	3	1	1

【同行先】

法律事務所	医療機関	相談者宅	役所	学校・幼稚園等	入管	母子施設等	裁判所	公営住宅管理窓口	法務局	他のNPO	不動産会社	警察署	郵便局・銀行	外国人コミュニティ	子ども家庭センター	年金事務所	オンライン	その他	合計
70	60	45	35	21	10	10	7	7	6	6	4	3	3	3	2	2	22	20	336

(2) 兵庫県内各地での移動生活相談会

移動相談会 in 芦屋 「ひょうごボランティア基金・地域づくり活動 NPO 事業助成」

日時：2025 年 12 月 7 日（日）10：00～15：00

会場：芦屋市保健福祉センター

【相談件数・国籍】フィリピン 2 件、ベトナム、ネパール、中国

オンライン相談会 「ひょうごボランティア基金・地域づくり活動 NPO 事業助成」

日時：2026 年 1 月 24 日（土）10：00～16：00、1 月 25 日（日）10：00～16：00

【相談件数・国籍】フィリピン 2 件、シリア、ベトナム、ペルー、中国、日本（帰化）

【相談内容】家族関係 4 件、在留資格 2 件、労働 2 件

(3) DV 被害者支援活動

兵庫県 DV 被害者自立支援活動事業（2025 年 5 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

DV 被害者の地域生活への定着・自立支援に向けた支援・相談活動を実施

・38 件（支援対象者 6 名）

神戸市 DV 被害者支援活動（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

・上半期 52 件

・下半期 42 件

(4) 難民申請者の生活支援

- ・食料支援：毎月1回水曜日にフードバンク関西より提供を受けた食料品を配布した
- ・必要に応じて相談、通訳同行支援を実施した。

(5) 物価高騰等の影響による生活困窮者等支援

- ・食料支援：毎月1回水曜日にフードバンク関西より提供を受けた食料品や個人・団体より寄付してもらった食料品等を配布した
- ・必要に応じて相談、通訳同行支援を実施した。

(6) 多文化ルーツの子どもの福祉のための事業

地域の子どもの福祉のための助成（2025年4月1日～2026年2月28日）を受け、学習支援を（合計17回）実施した。また、外国にルーツをもつ子ども本人や親から受けた教育に関する相談の問題解決のために、学校などの教育機関へ同行支援を実施したり、進学について教員との話し合いの場を設けたりした。その他、相談者から依頼され、教育機関や行政機関へ通訳同行支援を実施した。（延べ52回）

(7) 通訳者派遣、翻訳コーディネート

子ども家庭センター、市役所・区役所、弁護士等から通訳、翻訳の依頼が入った際に対応した

3 外国人の居住支援事業

(1) 外国人の住宅セーフティーネット確立のための取り組み

- ・中央共同募金会 赤い羽根（2025年10月～2026年9月）・・・14件（19名）へ宿泊支援
【国籍】フィリピン3件、ネパール2件、日本（フィリピンルーツ）、アフガニスタン、イギリス、イラン、ナイジェリア、ニュージーランド、バングラディシュ、ミャンマー、モロッコ
【性別】男性11名、女性7名、子1名
- ・中央共同募金会 赤い羽根（2025年10月～2026年9月）

4 外国人の人権擁護に関する調査、研究、提言事業

(1) 学習会・研修会の実施・参加

2025年11月14日「女性相談支援実務研修」2名参加
2025年11月18日「Canvaを学んで広報活動を広げる」2名参加

(2) 報告書、パンフレット等の作成、販売

30周年記念冊子「震災から30年 救援ネットのあゆみ」を作成

(3) 講師派遣

髯本 郁：RINK 通訳者・相談員スキルアップ講座「社会保障」、
神戸市シルバーカレッジ「国際交流・協力コース」ほか
北村広美：尼崎市大庄地区民生児童委員協議会
飛田雄一：住吉・住之江同和人権教育推進協議会
村西優季：関西学院大学「国内フィールドスタディ」、箕面市国流 多言語相談員養成講座 ほか

(4) 以下の団体とのネットワーク構築と協力活動

- ・移住者と連帯する全国ネットワーク
- ・すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク（RINK）
- ・ひょうご DV 被害者支援連絡会（HYVIS）
- ・退去強制手続きと子どもの権利ネットワーク
- ・人種差別撤廃 NGO ネットワーク
- ・有償家事労働ネットワーク
- ・兵庫県在日外国人教育研究協議会
- ・外国人相談窓口担当者連絡会（GONGO）
- ・協議離婚問題研究会（リコン・アラート）
- ・ひょうご働く人の相談室
- ・居住支援ネットワーク会議
- ・中央区多文化まちづくりの会

5 その他

(1) 組織体制・財政基盤確立のための検討と取り組み

- ・共感寄付に参加
- ・議事録作成の軽量化を検討
- ・認定 NPO 法人化を検討

(2) ニュースレターの発行（年 2 回）

- ・ニュースレター78号 2025年7月7日発行
- ・救援ネット便り 2025年10月発行
- ・ニュースレター79号 2025年12月3日発行

(3) 設立 30 周年記念事業：NGO 神戸外国人救援ネット 30 周年の集い

日時：2025 年 6 月 22 日（土）15 時半 ～ 18 時

会場：神戸学生青年センター

内容：記念講演「私と神戸と救援ネット」神田裕神父（救援ネット初代代表）

懇親会

参加人数：52 名

(4) 広報及び情報提供

ホームページや Facebook にて随時発信

6 事業実施体制

(1) 事務局

・開所時間：

月・水曜日 10：00～18：00、金曜日 10：00～20：00、土・日曜日 9：00～17：00

・事務局 1 名、事務局アルバイト 1 名、会計 1 名

・適宜、アルバイト雇用や学生ボランティア及びインターンの受け入れを行った

(2) 総会

2025 年 6 月 22 日 通常総会

正会員 19 名、賛助会員 17 名（2026 年 3 月 31 日現在）

(3) 理事会

2025 年 5 月 12 日、6 月 22 日、12 月 8 日、2026 年 2 月 9 日

(4) 運営委員会

- ・おおむね月に一度開催し、事務局から事業実施状況の報告を受け、検討事項を共有し協議した
2025 年 4 月 14 日、6 月 9 日、7 月 14 日、9 月 8 日、10 月 20 日、11 月 10 日、
2026 年 1 月 19 日、3 月 9 日
- ・運営委員会は理事と運営委員で構成される

(5) 登録通訳者 22 名 （2025 年度に実働があった者）

(6) 協力弁護士 20 名